

KORG

KORG Gadget

MUSIC PRODUCTION SOFTWARE

スタジオ・ガイド

J5



<http://www.samplemagic.com/>



<http://www.loopmasters.com/>



PRIME LOOPS
GET THE SOUND

<http://www.primeloops.com/>



<http://www.rawcutz.com/>

* Apple, iPad, iPhone, iPod touch, iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

* その他すべての商品名または規格名は関係各社の商標または登録商標です。

目次

クイック・リファレンス	5
主な特長.....	5
基本的な知識	5
演奏の準備.....	7
シンセ・ガジェットを演奏する.....	7
シンセの音色をエディットする.....	11
ドラム・ガジェットを演奏する.....	12
ドラムの音色をエディットする.....	13
メイン画面.....	14
1. ヘッダー.....	15
2. ソング・セクション	16
3. ミキサー・セクション.....	17
4. フッター.....	19
エディット画面	20
1. ヘッダー.....	21
2. ピアノ・ロール	22
3. ガジェット・パネル.....	23
4. フッター.....	26
ソングの作成.....	28
ガジェットを組み合わせてソングを作成する	28
ジャンル・セレクトを使ってソングを作成する	32
各トラックの音量、パン、エフェクトの深さを設定する	34
ソングを保存する.....	34
エディットする.....	35

その他の設定	44
Bluetooth MIDI	44
MIDI入力モード	45
MIDI 同期	45
Ableton Link	45
Transport CC	45
ノートプレビュー	45
メトロノームの音量	46
外観モード	46
Dropbox	46
その他の設定	46
インポート	47
エクスポート	48
仕様	50
サポート・サービスのご案内	51

クイック・リファレンス

このたびは、コルグ音楽制作ソフトウェア KORG Gadget をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、このスタジオ・ガイドをよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

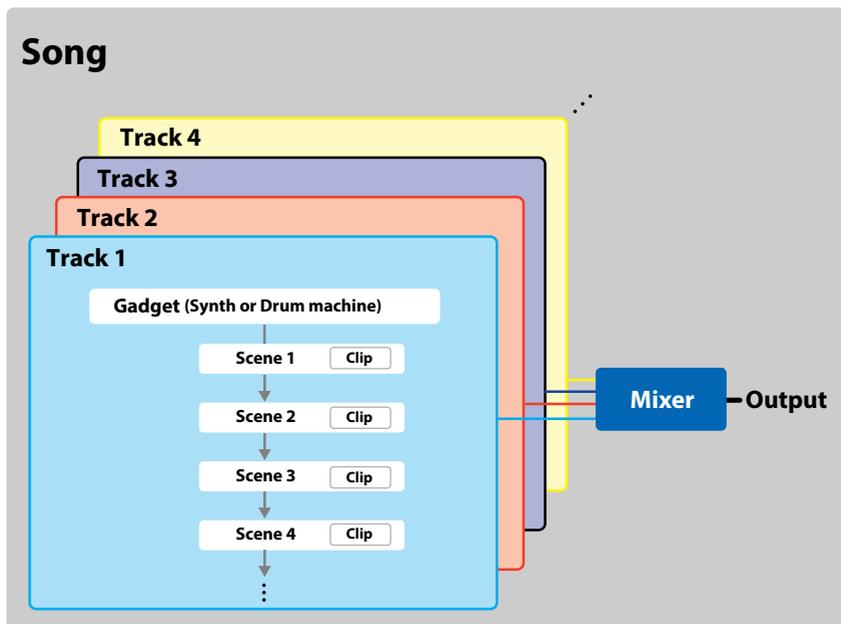
主な特長

KORG Gadget は、ガジェットと呼ばれる40個以上の小型シンセサイザー／ドラムマシンを搭載し、それらを自由自在に組み合わせて、直感的なユーザーインターフェースで音楽制作が行える、オールインワン音楽制作ソフトウェア&プラグインです。40個以上の膨大なガジェット楽器コレクションはアプリ内だけではなくAUv3にも対応。Garageband や Logic Pro などでガジェット楽器が使用可能です。

基本的な知識

KORG Gadgetの構成

Gadgetは、以下のような構成になっています。



ソング (Song)

Gadgetは、1曲を「ソング」という単位で管理します。1つのガジェットで演奏する場合も、複数のトラックで1つの曲に仕上げる場合も、それらをすべてソングとして保存します。

1つのソングに保存されるもの

- シーンとクリップの状態
- 各ガジェットの音色
- ミキサーの設定
- テンポ、スウィングの設定など

トラック (Track)

トラックは、1つのガジェットを演奏するためのシーケンサー/ミキサーの1つのパートです。トラックは、「ガジェット」と数小節単位の「シーン」で構成されています。

シーン (Scene)

「シーン」は、数小節がいくつかかたまっただけです。

一般的に一つの曲は、数小節単位の「イントロ」、「Aメロ」、「サビ」などで構成されています。これらの各構成要素が「シーン」にあたります。

イントロ (シーン 1) Aメロ (シーン 2) サビ (シーン 3)

クリップ (Clip)

「クリップ」とは、シーン内の各トラックのデータです。

各トラックで個別に設定することができ、同じシーンの中でも、クリップごとに小節数が異なる設定が可能です。

演奏の準備

iPad/iPhoneのホーム画面に表示されるKORG Gadgetアイコンをタップして起動します。
iPad/iPhoneのボリュームが上がっていることを確認します。

Tip ヘッドホンや外部スピーカー（アンプ内蔵スピーカー）を使用すると、より高音質でお楽しみいただけます。

シンセ・ガジェットを演奏する

まず、Berlinシンセ・ガジェットを選んで演奏してみましょう。

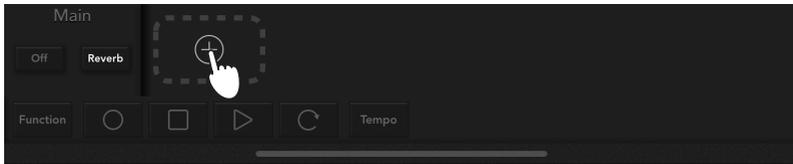
1. メイン画面を表示します。

メイン画面では、各トラックへのガジェットの割り当て、シーンの編集、各トラックの音量調節を行います。

メイン画面



2. トラック追加ボタンをタップしてトラックを追加します。



ガジェット選択画面が表示されます。

A screenshot of the KORG Gadget selection screen. At the top, there are 'List' and 'Search' buttons, and a search bar with a magnifying glass icon. Below the search bar, there are four columns of gadget thumbnails. The first column is titled 'Synth' and contains four items: 'BERLIN' (Mono Synchronized Synth), 'BRUSSELS' (Mono Anthem Synth), 'PHOENIX' (Poly Analogue Synth), and 'WOLFSE'. The second column is titled 'Keyboard' and contains four items: 'MARSEILLE' (Poly PCM Synth), 'Gadgets from KORG Module', 'DARWIN from KORG iM1 Digital PCM Synth', and 'Milpitas from W'. Each item has a title, a subtitle, and a short description. Some items have a star icon and a 'Buy' button.

Audio

Three audio gadget thumbnails. The first is 'Zurich' with a star icon, showing a vintage-style audio interface. The second is 'ROSARIO' with a star icon, showing a rack of audio modules. The third is 'DURBAN' with a star icon, showing another rack of audio modules.

KORG Gadget – スタジオ・ガイド

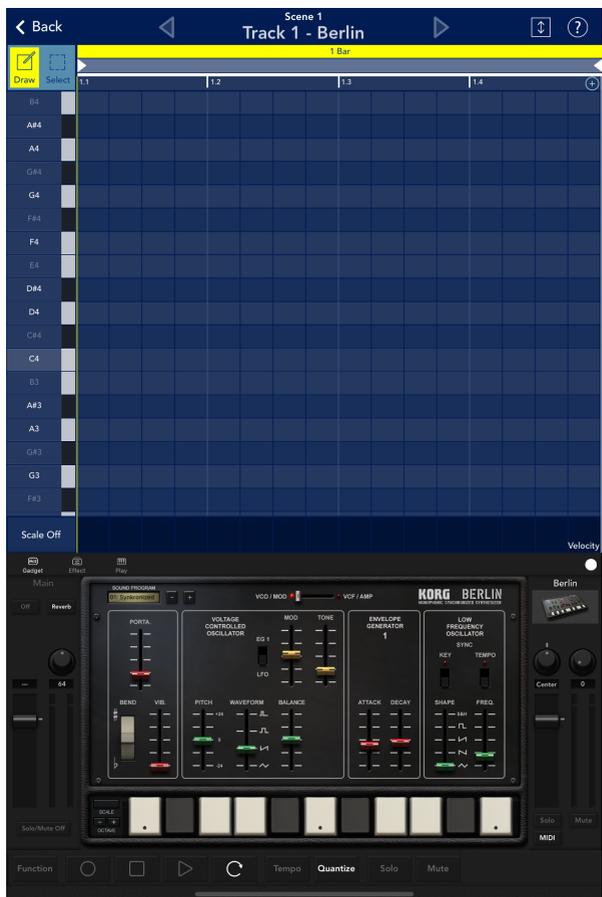
3. ガジェット選択画面からBerlinシンセ・ガジェットを選びます。
4. クリップをタップします。



エディット画面が表示されます。エディット画面は、ピアノ・ロールとガジェット・パネルで構成されています。エディット画面では、以下のことを行います。

- ガジェットの演奏と音色のエディット
- トラックへの録音と演奏データのエディット

エディット画面



5. 画面の下側に表示されるキーボードでガジェットを演奏します。
キーボードをタップしたり、スライドすると、ガジェットが発音します。



演奏をしてフレーズやパターンが思いついたら、28 ページの「ソングの作成」を参照して録音してみましょう。

シンセの音色をエディットする

シンセの音色をエディットしてみましょう。

1. ガジットのノブ、スライダー、ボタンを操作して音色をエディットします。
複数のエディット・ページがある場合は、ボタンやスイッチをタップしてエディット・ページを切り替えます。



Tip ノブの操作については、iOSの設定で行います。

ドラム・ガジェットを演奏する

今回はドラム・ガジェットを演奏してみましょう。

1. メイン画面でトラック追加ボタンをタップします。
ガジェット選択画面を表示します。
2. 選択画面からドラム・ガジェットを選びます。
ここでは、Londonを選んでみましょう。
3. 画面に表示されるパッドをタップしてガジェットを演奏します。



ドラムの音色をエディットする

ドラムの音色をエディットしてみましょう。

1. ガジェットのスライダー、ボタンを操作して音色をエディットします。
複数のエディット・ページがある場合はボタンがあります。ボタンをタップしてエディット・ページを切り替えます。

エディット・ページ切り替えボタン

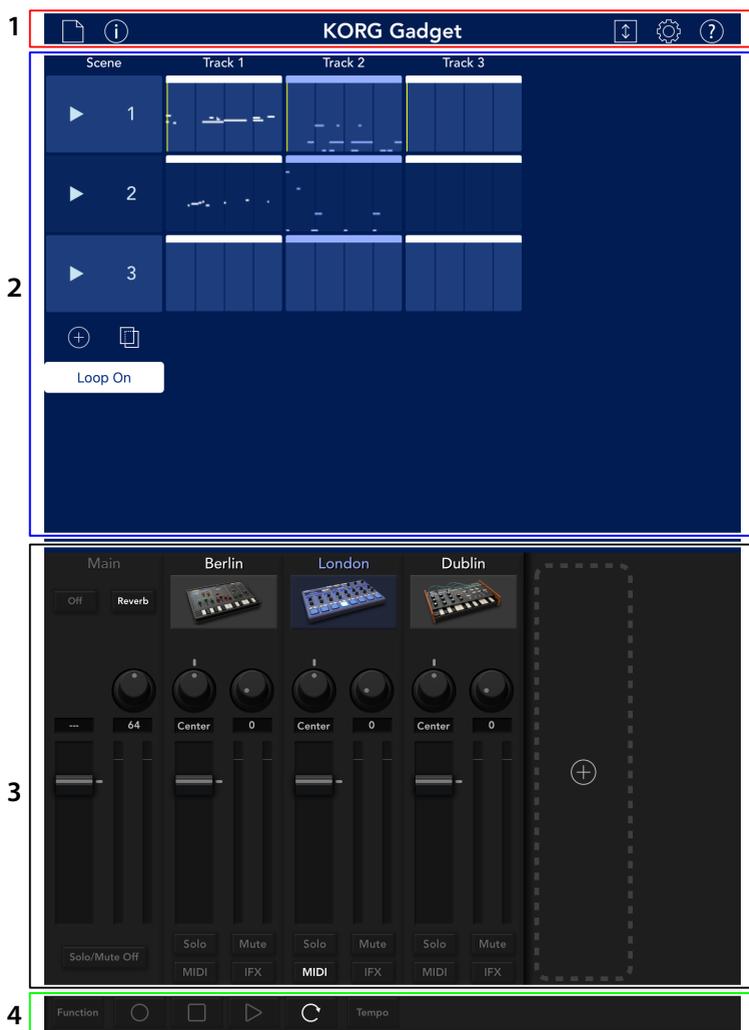


Tip ノブの操作については、iOSの設定で行います。

メイン画面

トラックやシーンなどの全体を確認できる画面です。以下のことを行います。

- 各トラックへのガジェットの割り当て。
- シーン追加、コピー、削除、拍子の変更など。
- 各トラックの音量調節、IFXのインサートなど。



1. ヘッダー



a. ファイル・ボタン

ボタンをタップすると、ソングなどのデータをロードしたり、セーブしたりするメニューが表示されます。

新規: 新規のソングを作成します。

開く: 保存しているソングを開きます。

保存: 現在開いているソングを上書き保存します。

別名で保存: 現在開いているソングを別名で保存します。

エクスポート: 現在開いているソングをオーディオ・ファイルに書き出します (→48 ページの「エクスポート」)。

インポート: 対応したファイルをソングとしてインポートします (→47 ページの「インポート」)。

b. インフォメーション

アプリのバージョン情報などを表示します。

c. ソング名

ソング名を表示します。

d. 拡大ボタン

ミキサー・セクションを非表示にして、ソング・セクションの画面を広げます。

e. 設定ボタン

Bluetooth MIDI、MIDI同期、Ableton Linkなどの設定を行います (→44 ページの「その他の設定」)。

f. ヘルプ・ボタン

操作方法などのヘルプ画面を表示します。

マニュアル: 取扱説明書を表示します。

ヘルプセンター: 「KORG app Help Center」を表示します。

バグ報告: 「KORG app Help Center」のバグ報告画面を表示します。

Note: マニュアル、ヘルプセンター、バグ報告を表示させるには、インターネットに接続できる環境が必要です。

2. ソング・セクション

各トラック、シーン、クリップを表示します。クリップをタップすると、エディット画面に移動してクリップの内容とガジェットを表示します。



a. シーン追加ボタン

シーンを追加します。Loopボタンはソング全体のループをOn/Offします。

b. シーン・ナンバー

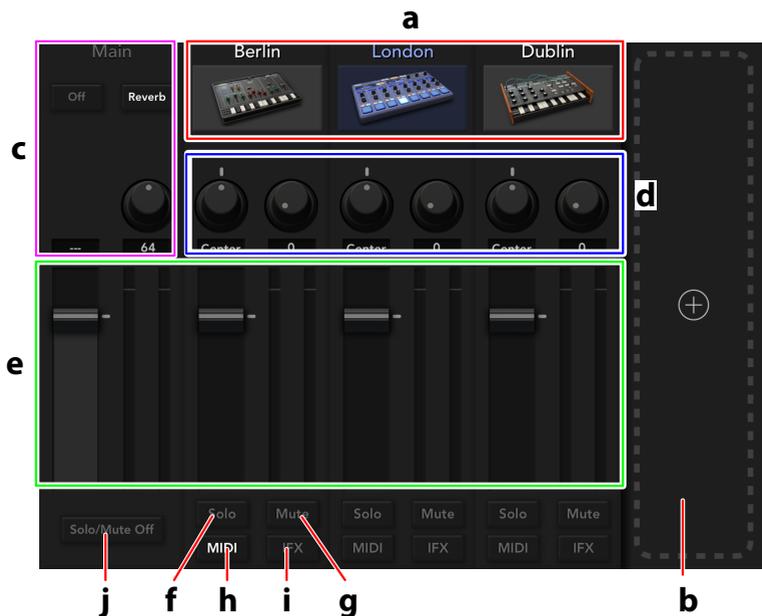
シーンのナンバーを表示します。▶をタップすると、そのシーンのみを再生します。

c. クリップ (Clip)

各シーンに録音されているノートを表示します。タップすると、エディット画面を表示します。

3. ミキサー・セクション

マスターの音量レベルとパンと各トラックの音量レベル、パン、ソロ/ミュート、MIDI、IFXを設定します。



a. ガジェット

トラックに割り当てたガジェットを表示します。タップするとエディット画面が表示されます。

b. トラック追加ボタン

トラックを追加します。ボタンをタップするとトラックが追加され、ガジェット選択画面が表示されます。画面からトラックにアサインするガジェットを選択します。

c. マスター・エフェクト

Limiterスイッチ

Limiter、DeeMaxのオン/オフを切り替えます。

Limiter Depthノブ

リミッターの深さを設定します。

Reverbスイッチ

リバーブのオン/オフを切り替えます。

Reverb Timeノブ

リバーブ・タイムを設定します。

d. Panノブ、Sendノブ

Panノブ

各トラックの音の定位を設定します。

Sendノブ

各トラックのマスター・リバーブ・エフェクトへのセンド・レベルを設定します。

e. フェーダー

各トラックまたはマスターの音量レベルを設定します。マスターは全体の音量を設定します。右にレベル・メーターが表示されます。

f. Soloボタン

各トラックの音のみを出力します。

g. Muteボタン

各トラックの音をミュート (消音) します。

h. MIDIボタン

ボタンが黄色く点灯しているガジェットを、iPad/iPhoneに接続した外部MIDIコントローラーでコントロールできます。設定の切り替えで、MIDI Advancedも選択可能です。その場合は、MIDIインプット・デバイス、MIDIチャンネルを各トラックに設定できるようになります (→44 ページの「その他の設定」)。

i. IFXボタン

IFXタブが開きます。各トラックのインサート・エフェクトを5つ設定することができます。

j. Solo/Mute Offボタン

すべてのトラックのSoloボタン、Muteボタンの設定をオフにします。

4. フッター



a. Functionボタン

ファンクションを表示します。ファンクションでは、表示されるボタンを目的に応じてタップして各種設定を行います。

b. (REC) ボタン

演奏をリアルタイム・レコーディングします。

c. (STOP) ボタン

録音や再生を停止します。

d. (PLAY) ボタン

再生します。再生中に押すと一時停止になります。

e. (Loop) ボタン

シーンをループします。

f. Tempoボタン

ボタンをタップするとダイアログ・ボックスが表示されます。テンポなどを設定します。

Tempo

演奏のテンポを設定します。

Swing

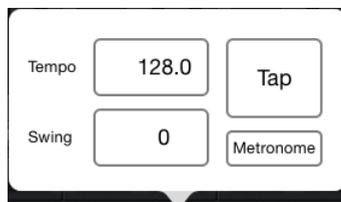
曲全体をスウィングさせる量を設定します。

Tap

ボタンをタップしてテンポを設定します。

Metronome

メトロノームのオン/オフを切り替えます。



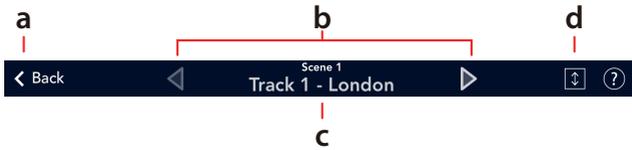
エディット画面

エディット画面は、ピアノ・ロールとガジェット・パネルで構成されています。以下のことを行います。

- ガジェットの演奏と音色のエディット
- ソングの録音と録音したデータのエディット



1. ヘッダー



a. Backボタン

メイン画面に戻ります。

b. 切り替えボタン

前後のトラックに移動します。

c. シーン、ガジェット

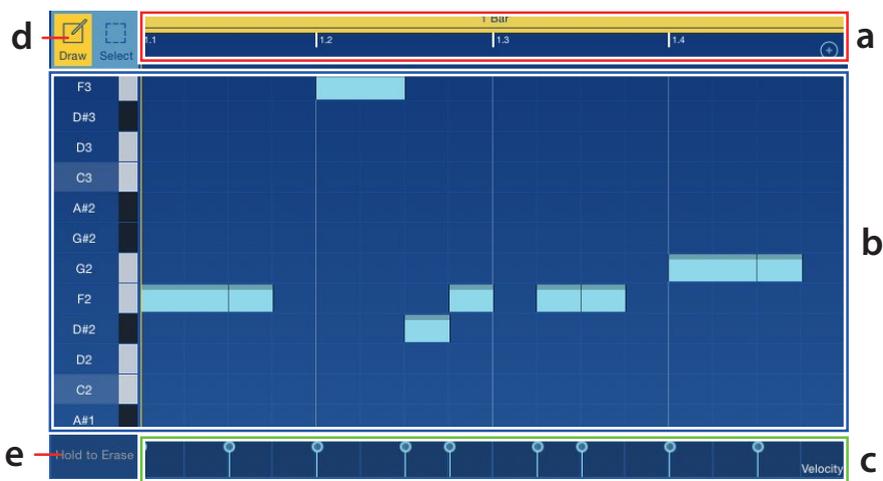
現在エディット中のシーンとガジェットを表示します。
タップすると、ガジェット選択画面が表示されます。

d. 拡大ボタン

ピアノ・ロールを拡大します。

2. ピアノ・ロール

各トラックのクリップにレコーディングされたノートを表示します。クリップへのレコーディングは、リアルタイム・レコーディングするか、画面をタップしてノートを入力します。また、リアルタイム・レコーディング後にエディットすることも可能です。



縦軸上にノートを表示します。ノート表示は、ファンクション [* Bar]のNote Foldで切り替えることができます。ノートをタップすると発音します。

a. ロケーター

横軸上にクリップのロケーションを表示します。クリップに複数の小節がある場合は、「2 Bar」や「3 Bar」などの小節表示をタップすると、その小節の内容が表示されます。

b. ノート表示

クリップに録音されたノートを表示します。ベロシティ値によって色の付き方が変わります。

c. パラメーター表示

録音時に記録したガジェットのパラメーター値などを表示します。タップすると、表示部分が上に広がり、パラメーター値などをエディットできます。

d. Draw/Selectボタン

ノートを編集するときに使用します。

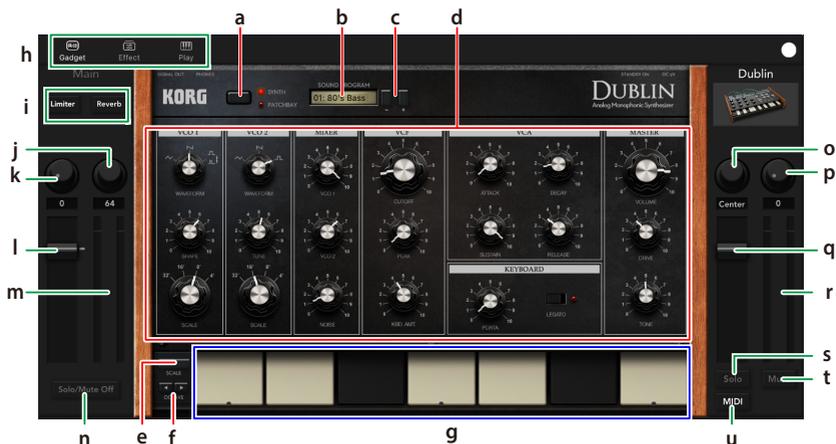
ノートの編集については、30 ページの「シーンを追加し録音する」をご覧ください。

e. Eraseボタン

再生中にタッチしたままにすると、録音されているノートが消去されます。

3. ガジェット・パネル

ガジェットの音色パラメーターとキーボードまたはパッドです。



a. エディット画面切り替えボタン/スイッチ

エディット画面が複数ある場合に表示されます。

b. プログラム・ディスプレイ

音色名が表示されます。タップすると、音色リストを表示します。リストから音色を選択します。

c. プログラム選択ボタン

プログラムを選択します。タップするたびにプログラムが1つ切り替わります。

d. パラメーター

ガジェットのパラメーターを表示します。ノブやスイッチを操作して音色をエディットします。また録音中に、これらのノブやスイッチを操作すると、その動きが記録されます。

Tip ノブの操作については、iOSの設定で行います。

e. Scaleボタン

ボタンをタップするとダイアログが表示されます。キーボードで演奏するスケールなどを設定します。

Scale Type

キーボードで発音するスケールを設定します。

Key

スケールの基準となるキーを設定します。

Scale Step

1オクターブ内で発音するノートの数を設定します。

f. オクターブ・ボタン

キーボードで発音するオクターブを設定します。

g. キーボード、パッド

ガジェットを演奏します。シンセ・ガジェットでは、キーボードをタップまたはスライドすることによってスケールを演奏することができます。スケールはScaleボタンをタップして設定します。ドラム・マシン・ガジェットではパッドをタップします。

h. エディット画面切り替えボタン

タップしてエディット画面を切り替えます。

Gadget: ガジェット・パネルを表示します。

Effect: IFXパネルを表示します。各トラックのIFXが設定できます。

Play: プレイ・パネルを表示します。スケールやアルペジエーターなどを設定します。

i. Limiterスイッチ

Limiter、DeeMaxのON/OFFを切り替えます。

i. Reverbスイッチ

リバーブのON/OFFを切り替えます。

j. Reverb Timeノブ

リバーブ・タイムを設定します。

l. フェーダー

メインの音量レベルを調節します。

m. レベル・メーター

メインの音量レベルを表示します。

n. Solo/Mute Off

各トラックのSolo/Muteを一括で解除します。

o. Panノブ

各トラックの定位を設定します。

p. Sendノブ

各トラックのリバーブ・センドを設定します。

q. フェーダー

各トラックの音量レベルを調節します。

r. レベル・メーター

トラックの音量レベルを表示します。

s. Soloボタン

ONにしたトラックの音だけ出力されます。

t. Muteボタン

ONにしたトラックの音をミュート（消音）します。

u. MIDIボタン

ボタンが点灯しているガジェットを外部MIDIコントローラーでコントロールできます。設定の切り替えで、MIDI Advancedも選択可能です。その場合は、MIDIインプット・デバイス、MIDIチャンネルを各トラックに設定できるようになります。

ノブやスイッチにMIDIコントロール・チェンジ・メッセージを割り当てる

各ガジェットのノブやスライダー、スイッチなどのコントローラーにMIDI CC#（MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ）を割り当てることができます。iPad/iPhoneに接続した外部MIDIコントローラーでガジェットをコントロールすることができます。

1. iPad/iPhoneに外部MIDIコントローラーを接続します。

接続の方法などは、外部MIDIコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

2. エディット画面でFunctionボタンをタップしてファンクションを表示します。

画面の右下にMIDI CC#を割り当てるダイアログが表示されます。



- MIDI CC#を割り当てるパラメーターをタップして選択します。
選択したパラメーターがグレーの色で点滅します。



- iPad/iPhoneに接続している外部MIDIコントローラーを操作します。
ガジェットがコントローラー側から送信されたMIDI CC#を受信して、選択しているパラメーターに割り当てられます。

Tip MIDI CC#割り当て後、ガジェットのパラメーターを外部MIDIコントローラーでコントロールするときは、メイン画面のミキサー・セクションで、MIDIボタンをタップして黄色く点灯させます。

4. フッター



a. Functionボタン

ファンクションを表示します。ファンクションでは、表示されるボタンを目的に応じてタップして各種設定を行います。

b. (REC) ボタン

演奏をリアルタイム・レコーディングします。

c. (STOP) ボタン

録音や再生を停止します。

d. (PLAY) ボタン

再生します。再生中に押すと一時停止になります。

e. (Loop)ボタン

シーンをループします。

f. Tempoボタン

ボタンをタップするとダイアログ・ボックスが表示されます。テンポなどを設定します。

g. Quantizeボタン

レコーディングの分解能を設定します。リアルタイム・レコーディング時、演奏したノートなどのタイミングを補正します。

h. Soloボタン

現在選択中のトラックの音のみを出力します。

i. Muteボタン

現在選択中のトラックの音をミュート（消音）します。

j. Undoボタン

現在選択中のトラックでエディットした動作を取り消します。ボタンの長押しで履歴をリスト表示できます。

k. Redoボタン

現在選択中のトラックでエディットした動作をやり直します。ボタンの長押しで履歴をリスト表示できます。

ソングの作成

KORG Gadgetのソング作成は、お気に入りのガジェットを組み合わせることで新規に作る方法と、パターンを自由に組み合わせるアイデアとなるフレーズを決めてから作るジャンル・セレクトの2つの方法があります。

ガジェットを組み合わせることでソングを作成する

KORG Gadgetのソング作成は、まずお気に入りのガジェットを探るところからはじまります。

まず、ひとつのガジェットを選び、演奏してみましょう。そして、パターンなどを思いついたらシーンに録音します。さらにサウンドが必要だなと感じたところで、他のガジェットを追加していきます。このような作業をくり返すことによって、音から音楽へと自然に変わっていきます。

ガジェットを選択して演奏する

1. メイン画面で  (ファイル・ボタン) をタップして表示されるメニューから「新規」を選びます。
2. 必要に応じて名前をつけて、「OK」をタップします。
ガジェット選択画面が表示されます。
3. 選択画面からガジェットを選びます。
エディット画面に切り替わります。
4. ガジェットの音色をエディットしたり、演奏します。
パターンやフレーズなどを思いついたら、クリップに録音してみましょう。

録音する

1. メイン画面でFunctionボタンをタップしてファンクションを表示します。



2. [4/4 x 1]をタップして表示されるダイアログでシーンの拍子、リピート回数を設定します。



シーン名：各シーンの名前を設定します。

拍子：拍子を設定します。

リピート：再生時にそのシーンを何回再生するかを設定します。

シーンテンポ：各シーンでテンポを有効にするかどうかを設定します。

スムーズ：シーンの切り替え時に、徐々に次のシーンのテンポへ変化させるかをどうか設定します。

フェードイン：各シーンのフェードインを有効にするかどうかを設定します。

フェードアウト：各シーンのフェードアウトを有効にするかどうかを設定します。

設定し終わったら、ダイアログの外をタップして、ダイアログを閉じます。

3. [1 Bar]をタップして表示されるダイアログで小節数などを設定します。



小節数：クリップの小節数を設定します。

演奏モード：クリップの再生のしかたを設定します。

ミュート：トラックをミュート（消音）します。

グリッド：クオンタイズの分解能を設定します。設定に合わせ、画面のグリッド表示も変わります。

設定し終わったら、ダイアログの外をタップして、ダイアログを閉じます。

4. Functionボタンをタップしてファンクションを終了します。
5. 作成したシーンをタップしてエディット画面を表示します。

6.  (REC)ボタンをタップして、録音待機状態にします。そして、フッターにある各ボタンをタップして録音に関する設定を行います。

Quantizeボタン：ファンクション [* Bar]のGridで設定した分解能でクオンタイズがかかります。

 (Loop)ボタン：選択しているクリップのシーンをループします。

Tempoボタン：テンポを設定します。

7.  ボタンをタップして録音を開始します。ガジェットを演奏してください。
録音中に、ガジェットのノブやスイッチを操作すると、その動きが記録され、再生時に音色が変化します。

8. 演奏が終了したら、 ボタンをタップして録音を終了します。

Tip 録音すると、フッターにUndoボタンが表示されます。Undo/Redoを実行できるようになります。

シーンを追加し録音する

1. メイン画面でシーン追加ボタンをタップして、シーンを追加します。
Functionボタンをタップして表示されるファンクションでもシーンを削除したり、複製を追加することができます。



削除：シーンを削除します。

挿入：現在選択しているシーンの後ろに空のシーンを挿入します。

選択：複製したいシーンを選択して、コピーを選択したシーンの後ろに挿入します。

2. シーンを設定します。

☞ 28 ページの「録音する」の手順2～4

3. シーンに録音します。

☞ 28 ページの「録音する」

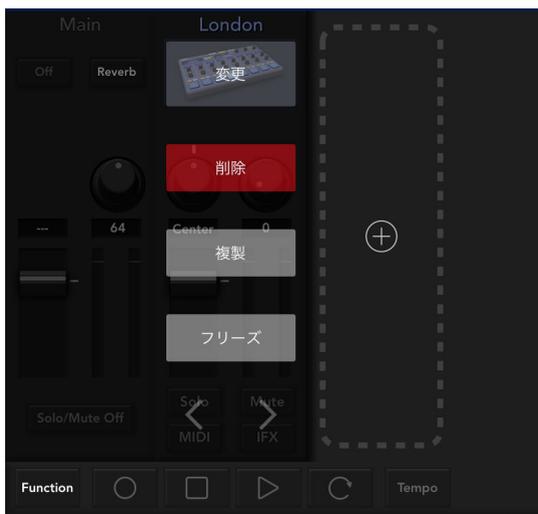
トラックを追加する

1. メイン画面で、トラック追加ボタンをタップします。
2. ファンクションの[* Bar]をタップして表示されるダイアログで小節数などを設定します。
☞ 28 ページの「録音する」の手順3
3. エディット画面でガジェットを演奏し、パターンやフレーズを録音します。
☞ 28 ページの「録音する」

これまでの操作を繰り返し行い、ソングを作成します。

トラックの編集

1. メイン画面でFunctionボタンをタップしてファンクションを表示します。



2. ミキサーに表示された[削除]をタップするとトラックが削除されます。[複製]をタップすると、トラックの右側に複製が追加されます。
3. ガジェットを変更したい場合は、[変更]をタップします。
ガジェット選択画面が表示されます。
4. トラック数やシーン数、小節数が増えて、動作が重くなってきた場合は、[フリーズ]をタップします。
フリーズ機能がオンになり、CPUへの負担が軽くなります。

ジャンル・セレクトを使ってソングを作成する

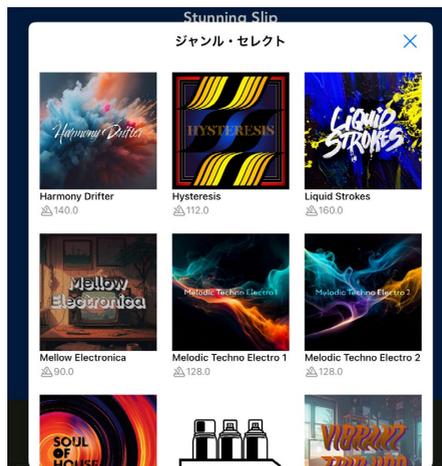
自分の好きなジャンルやサウンドを選んでからパターンを自由に組み合わせることで曲作りをスタートできるのが「ジャンル・セレクト」です。5 x 5のパッドにアサインされたフレーズはすべてガジェットで作られているので、お気に入りのパターンを自由に組み合わせるだけで、各トラックのガジェット、シーンが展開されたプロジェクトから曲作りを始めることができます。

ジャンル・セレクトで曲作りを始める

1. まずは、メイン画面のヘッダーにあるファイルボタンを押して「新規 - ジャンル・セレクト」を選択します。



2. 表示されたジャンル・セレクト・メニューからお好きなパックを選択してください。



- パート毎にフレーズの入ったパッド*が表示されますので、お好きな組み合わせを選んでみてください。組み合わせが完了したら「ロード」を選択します。



* 鍵マークとガジェット名がパッドに表示されている場合、アプリ内課金コンテンツを購入されていないことを示しています。パッドでフレーズを確認することは可能ですが、フレーズを Load した後は該当トラックの音が鳴りませんのでご注意ください。

- 組み合わせたフレーズがソングとして読み込まれます。このフレーズを基に曲作りを開始してみましょう!



各トラックの音量、パン、エフェクトの深さを設定する

ひとつおりの録音が終了したら、ソングを再生しながら各トラックの音量、パンを設定します。

ソングを保存する

完成したソングを保存します。

1. メイン画面の左上にある  (ファイル・ボタン) をタップしてファイル・メニューを表示します。
2. メニューから「別名で保存」を選びます。
3. 表示されるダイアログで、名前を入力します。
4. ダイアログの「OK」をタップします。

エディットする

小節単位でノート・データをコピーする

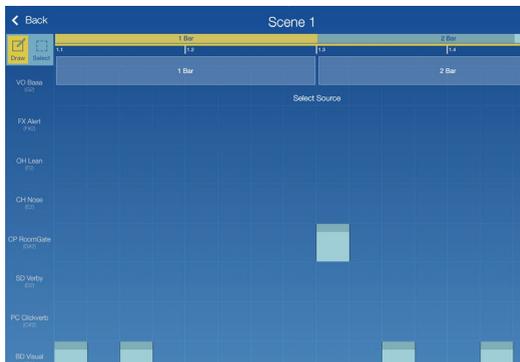
ファンクションの[コピー]コマンドでは、ノート・データを小節単位でコピーすることができます。

Note: 小節が2小節以上ないと、[コピー]コマンドは有効になりません。コピーする場合は、あらかじめ小節数を複数に設定してください。

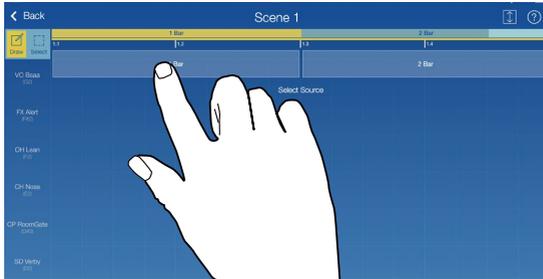
1. エディット画面でFUNCTIONボタンをタップしてファンクションを表示します。
2. 左上の[コピー]ボタンをタップします。



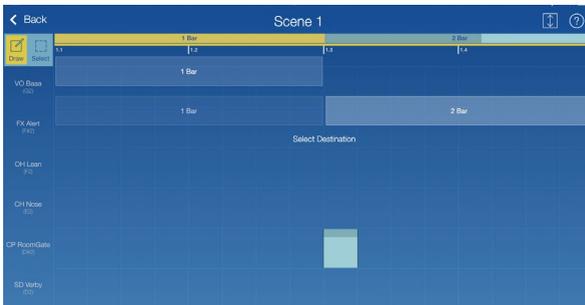
コピー元を設定する画面が表示されます。



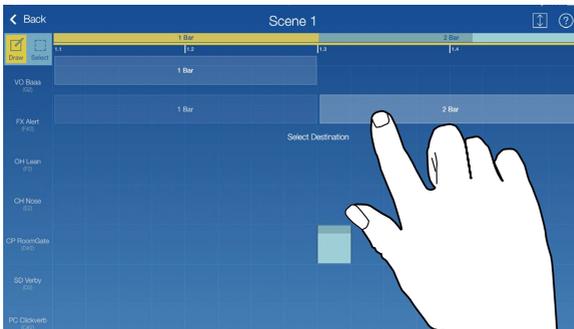
3. コピー元の小節をタップして指定します。



コピー先の小節を設定する画面が表示されます。



4. コピー先の小節をタップして指定します。



コピーが完了します。

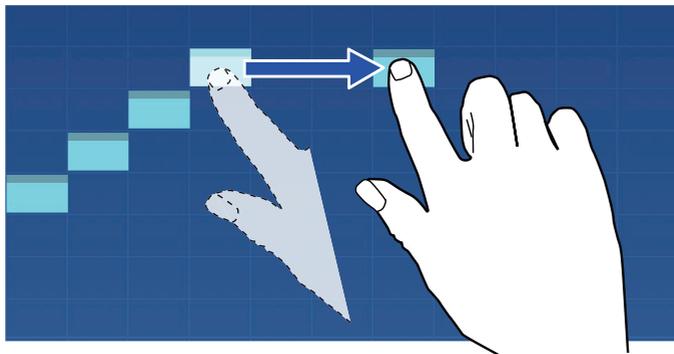
Note: コピーは、複数小節単位でコピーすることはできません。

ノートをエディットする

1. Draw/Selectボタンの「Draw」をタップして  の状態にします。
この状態で、画面上を指でタップしたり、ドラッグすることで、ノートの移動、追加、削除などができます。

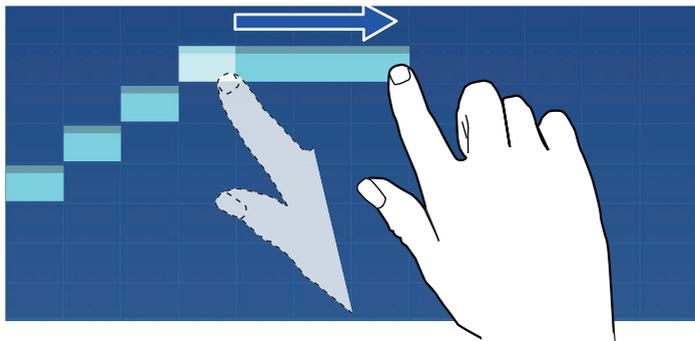
ノートの移動

ノートの中央をドラッグすると、移動できます。



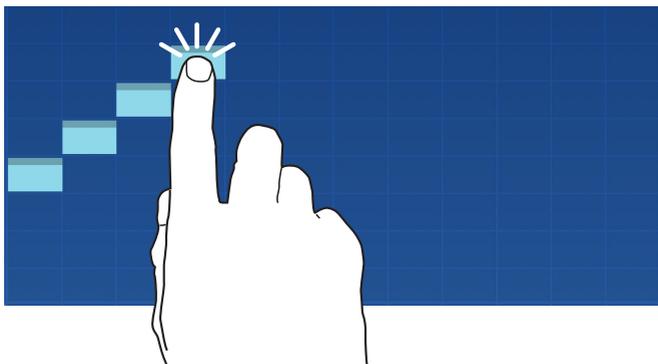
ノートの長さを変更

ノートの後ろの部分（左側）をドラッグすると、ノートの長さを変更できます。



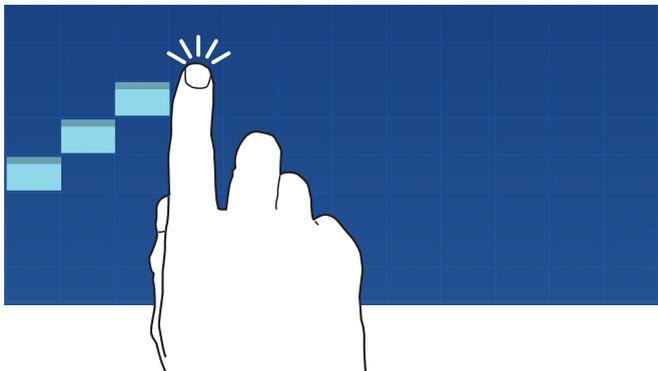
ノートの追加

ノートのないところをタップすると、ノートが追加されます。



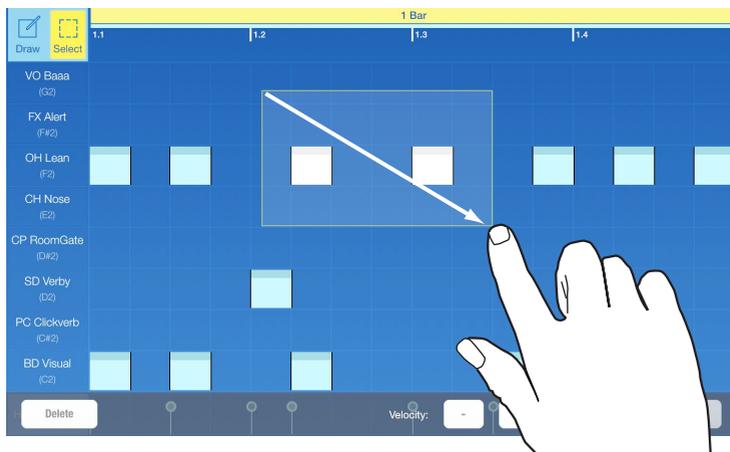
ノートの削除

ノートをタップすると、削除されます。



ノートを複数選択してエディットする

1. Draw/Selectボタンの「Select」をタップして  の状態にします。
この状態で、画面上のノートを指で選択してエディットができます。
2. エディットしたいノートを指で選択、または囲みます。
選択したノートの色が白色に変わります。



3. 選択したノートを削除したり、音の高さを1つずつ移動したりなどのエディットができます。

トラック上のすべてのノートを消去する

1. Functionボタンをタップしてファンクションを表示します。

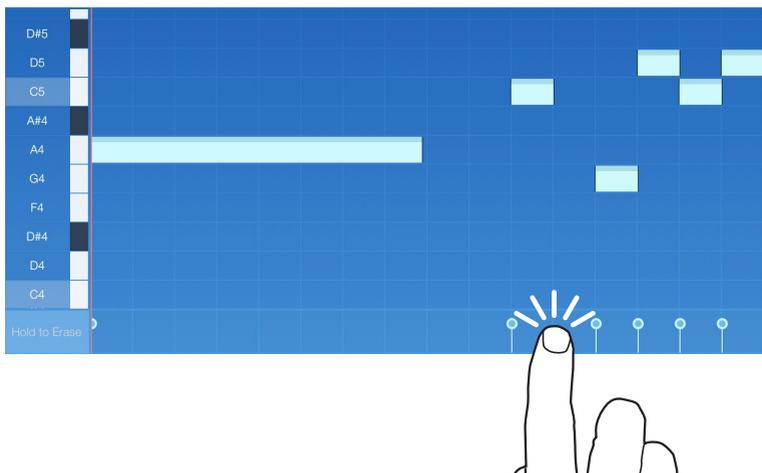


2. 左上に表示されるボタンの中から[ノートを削除]を選びます。
エディット中のトラックにあるノートがすべて消去されます。

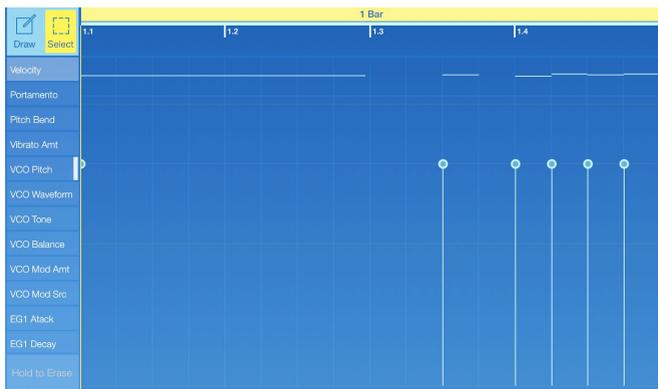


パラメーターのエディット

1. ノート表示の下にあるパラメーター・プレビューをタップして表示します。

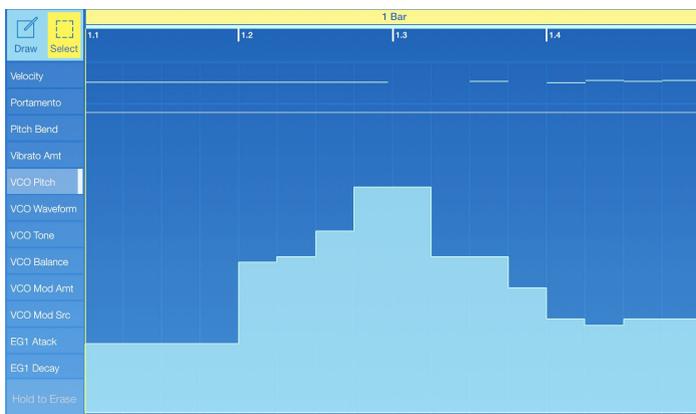


録音されているノートのパラメーターがグラフィックで表示されます。左側には、エディット可能なパラメーターの名前が表示されます。クリップに記録されているパラメーターは、名前の右端が白くなります。

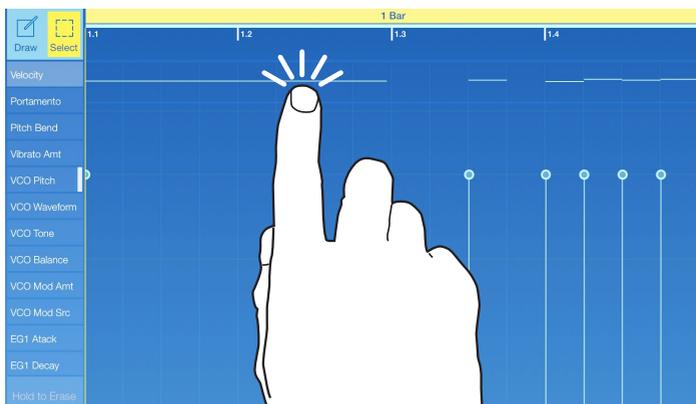


2. 「Draw」をタップして  の状態にします。
3. 画面上のグラフィックの上部を上下にドラッグすることで値を変更できます。エディット・ボタンを「Select」にしてエディットすることもできます。

4. 他のパラメーターをエディットするときは、左側に表示されているパラメーター名をタップします。



画面をノートに戻すときは、パラメーター表示の上に少しでも表示されているノートをタップします。

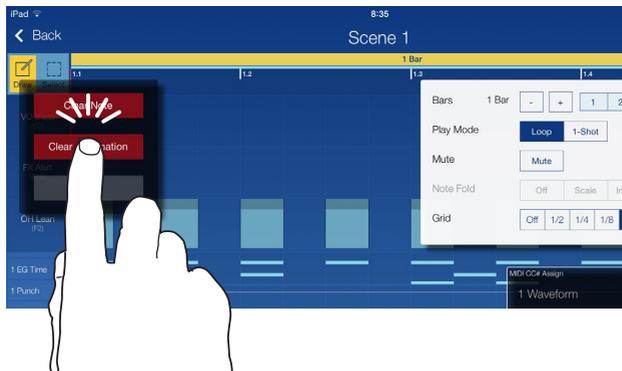


トラック上のすべてのパラメーターを消去する

1. Functionボタンをタップしてファンクションを表示します。



2. 左に表示されるボタンの中から[オートメーションを削除]を選びます。
エディット中のトラックに記録されているパラメーターがすべて消去されます。



その他の設定



Bluetooth MIDI

microKEY Air、nanoKONTROL Studio、nanoKEY Studioなど、Bluetooth MIDIデバイスを接続するためのメニューです。お持ちのBluetooth MIDIデバイスを選択することで使用可能となります。(Bluetooth MIDIデバイスのGadget対応につきましては、各デバイス・メーカーにご確認ください。)

MIDI入力モード

MIDI入力モードについての設定を選択します。

Easy: KORG Gadgetの標準的な設定です。メイン画面でMIDIボタンを押したトラックに対してMIDI入力が有効になります。(MIDIボタンは複数選択できません)

Advanced: 各トラックに、MIDIデバイス、MIDIチャンネルを設定できるようになります。メイン画面のAllボタンを押して詳細な設定を行います。(上級者向け)

MIDI同期

KORG GadgetとiPad/iPhoneに接続した外部MIDI機器とのMIDIクロックの同期を設定します。MIDI Sync 「Int」、「Ext」、「Auto」のいずれかをタップして設定します。(KORG GadgetからMIDIクロックを送信することはできません。)

Int: KORG Gadgetは、内部クロックで動作します。KORG Gadgetを単独で使用するときや、KORG Gadgetをコントロールする側として外部MIDI機器と同期させるときに設定します。

Ext: KORG Gadgetは、接続した外部MIDI機器からのMIDIクロックに同期して動作します。

Auto: 通常は「Int」の動作になります。KORG Gadgetが接続された外部MIDI機器からMIDIクロックを受信すると、自動的に「Ext」の動作に切り替わります。

Ableton Link

Ableton Linkは、ワイヤレス・ネットワークを通じて、Ableton Liveと、Link可能なアプリ/ソフトウェアにおいて、ビートやフレーズ、テンポを同期させるテクノロジーです。

それは、ライブ・バンドのように自由に複数のデバイスで演奏することを可能にします。誰かが演奏している間でも、他のメンバーが演奏に参加でき、また誰かがテンポを変更すれば他のデバイスもそれに追従します。

Ableton Linkを搭載したアプリ/ソフトウェアがあれば複数のデバイスでタイミングを合わせて演奏したり、また単一のデバイスで複数のアプリ/ソフトウェアを同時に演奏したりできます。

Ableton Link: ON/OFFを切り替えます。

In-app notification: Ableton Link対応アプリ/ソフトウェアが接続されたときにお知らせを表示します。

Connected Apps: 現在接続されているアプリ/ソフトウェアの数を表示します。

Transport CC

メイン・ビューの再生/一時停止、停止、録音、ループ、メトロノームON/OFFを、外部MIDI機器から操作するためのMIDI CC#をアサインします。

ノートプレビュー

シーケンサーにノートを入力した際に、入力されたノートの音(プレビュー)を発音するかしないかを設定します。

メトロノームの音量

メトロノームの音量を調節します。メトロノームがONの場合に有効です。

外観モード

ガジェット内の外観を設定します。

Light: 全体を白を基調とした明るい雰囲気を設定します。

Dark: 全体を黒を基調とした暗めの雰囲気を設定します。

OS: iOSの設定に応じてライトかダークを自動的に設定します。

Dropbox

Dropboxとのリンクを設定します。Dropboxへのエクスポートを実行すると、リンクを設定したDropboxのアカウントにデータがアップロードされます。

Unlinked: ボタンを押すと、Dropboxのログイン画面が表示されます。

Login Name: ボタンを押すと、Dropboxからログアウトします。

その他の設定

GadgetのiOS設定画面を開きます。オーディオ・レイテンシーやバックグラウンド・オーディオなどの設定ができます。

インポート

スタンダードMIDIファイルやNintendo Switch版KORG Gadgetで作成されたファイルを読み込みます。

1. メイン画面の左上にある  (ファイル・ボタン) をタップして表示されるファイル・メニューから [インポート] を選びます。



2. インポート・メニューから、読み込みたいファイルを指定します。

Standard MIDI File

Standard MIDI Fileをソングとして読み込みます。

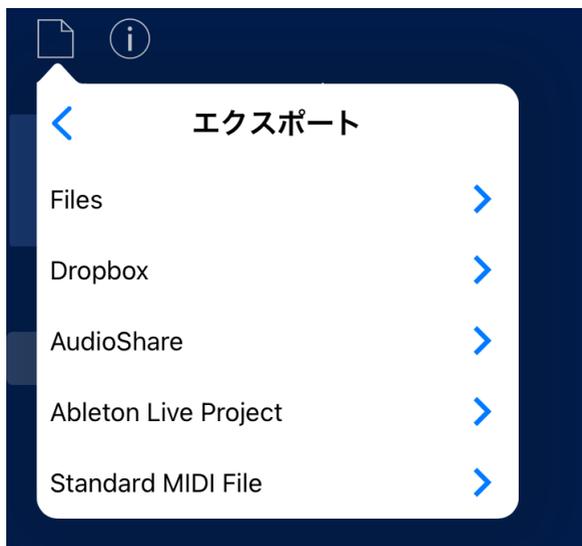
KORG Gadget for Nintendo Switch

KORG Gadget for Nintendo Switchに表示されたQRコードを読み取ります。

エクスポート

ソングをオーディオ・ファイルとして書き出します。オーディオ・ファイルの形式は、エクスポート時に選択します。

1. メイン画面の左上にある  (ファイル・ボタン) をタップして表示されるファイル・メニューから [エクスポート] を選びます。



2. エクスポート・メニューから、オーディオ・ファイルの保存先を指定します。

Files

書き出したオーディオ・ファイルをiPad/iPhoneに保存します。保存したファイルは各種共有機能を使うことでコンピューターに転送できます。

Dropbox

書き出したオーディオ・ファイルを「Dropbox」にアップロードします。

Note: あらかじめDropboxへのアカウント登録が必要です。

AudioShare

書き出したオーディオ・ファイルをクリップ・ボードに転送します。オーディオ・データを「AudioPaste」対応アプリで使用することができます。

Ableton Live Project

書き出したオーディオ・ファイル、またはプラグイン*をAbleton Live上で各トラックに配置された状態の「プロジェクト・ファイル」としてiPad/iPhoneに保存、またはDropboxにアップロードしま

す。メニューでFilesまたはDropboxを指定します。

* プラグインの形式として書き出した場合、Ableton Liveでご利用いただくにはKORG Gadget for MacまたはKORG Gadget Plugins for Mac/PCが必要です。

Standard MIDI File

現在のソングをStandard MIDI Fileとして書き出します。メニューでFilesまたはDropboxを指定します。

3. オーディオ・データを書き出すときに、以下の設定を選択することができます。

All Tracks: すべてのトラックのデータをオーディオ・データに書き出します。

Track: 指定したトラックのデータのみをオーディオ・データに書き出します。

データ形式: オーディオ・データのビット数、サンプリング周波数を選択します。

Tail: オーディオ・データに書き出す際に、曲の終わりに余白を含めるかどうかを設定します。残響音がある場合は 5000 msを選択してください。

仕様

動作環境

本製品の仕様については、コルグ・ウェブサイトの製品情報をご確認ください。

https://www.korg.com/products/software/korg_gadget/specifications.php#ios

* 仕様および外観は改良のため予告無く変更される場合があります。

サポート・サービスのご案内

KORG appヘルプセンター

<https://support.korguser.net/hc/ja>

本製品についてご質問がある場合は、このマニュアルまたはKORG appヘルプセンターを確認してください。

- ご質問の内容やお客様の使用環境によって生じる問題などについては、回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

株式会社コルグ

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

© 2014 **KORG INC.**

www.korg.com

Published 10/2024